令和８年度　「志教育」全体計画

様式１

宮城県古川高等学校

校　訓

質実剛健　学問尊重　自主自律

本校の教育目標

① 健全な心身の育成
　質実剛健の精神を涵養し、清潔にして健全な品性を備えた互いに信頼し合う誠実な人間を育成する。
② 真理の探究
　学問尊重の気風を興し、自発的学習意欲を高め、謙虚に真理を探究する態度と適正な判断力を養う。
③ 主体性の確立
　自主自律の精神を養い、自己の能力の伸長に努め、広く社会に貢献できる人材を育成する。

生徒の実態、教師の願い

・誠実で文武両道に取り組む生徒が多く、毎年9割以上の生徒が進学する。
・学習や諸活動に主体的に取り組むことで、充実した有意義な高校生活を過ごして欲しい。

保護者や地域の願い

・他者への思いやりの心を持ち、規範意識や自尊心を持って社会で活躍して欲しい。
・将来は地域のリーダー的存在として、地域の仲間と力を合わせて社会に貢献して欲しい。

「志教育」の目標

１ 将来の夢実現のため、社会から信頼される誠実さと品性を養う。
２ 真理の探究を通して文化の発展に寄与しようとする精神を養う。
３ 社会の発展のため、身につけた能力を積極的に生かそうとする心を育てる。

重点指導事項

人と「かかわる」	よりよい生き方を「もとめる」	社会での役割を「はたす」
・学校生活の様々な場面で円滑なコミュニケーションができるようその能力を高め、ホームルームや生徒会、部活動などにおいて自分の立場や役割を確認し、協力･協調しながらよりよい組織を作ろうとする態度を養う。	・総合的な探究の時間における学問研究やオープンキャンパスへの参加、また出前講座などを通して、自分の適性を理解させ、将来の職業とその実現を目指す進路について主体的に考えさせる。	・交通安全への呼びかけや、学校周辺の清掃活動、学習支援、地域活性化に関する各種ボランティア活動および募金活動などを通して、社会の一員としての自覚を高め、社会参加することの大切さを学ばせる。

各教育活動における取組の観点

各教科	・我が国の歴史、文化、生活についての理解と認識を深め、コミュニケーション能力を高めると同時に、様々な社会問題に関心を持ち、多角的な視点で理解・判断する能力を高め、国際社会に貢献できる人物を育成する。
道徳	・健全な品性を備え、互いに信頼し合う誠実な人間を育成する。 ・自己の課題や目標を定め、その探究心を養う。 ・規範意識や実践力を高め、社会に貢献できる人材を育成する。
総合的な探究の時間	・地域や現代社会における課題を見出し、他者とのコミュニケーションを通じてよりよい社会を築くための解決策を探究する力を育成する。 ・探究したことをまとめ、他者に伝える手段を学び、発表する力を育成する。 ・これらの探究活動を通じて、自分の進路を見定め、将来の職業に対する意識を高める。
特別活動	・ホームルーム、生徒会活動、学校行事を通して、望ましい人間関係を形成し、集団の一員としての意識や集団への所属感、また連帯感や公共精神などを育成し、集団の中で自己実現を図ろうとする姿勢を育てる。
その他	・部活動を通して、集団生活における規律と円滑な人間関係を体得させる。 ・ボランティア活動で地域の課題を探し、他者と関りながら、地域社会に貢献する人材を育成する。

各学年の取組内容

１年	①入学後の初期指導や学校行事を通して信頼できる人間関係作りを行わせる。 ②学問研究や職業研究等の進路行事によって学ぶことの意義と社会への貢献を考えさせる。 ③ボランティアや生徒会活動など自発的な奉仕活動や地域貢献に取り組み、社会につながる実感を持たせる。
２年	①学習活動・特別活動や被災地研修などの行事を通して、社会の一員であるという自覚を深めさせる。 ②自分の未来に一定の方向性を見出せる生徒の育成を図る。 ③社会をより深く知るための講演会や先輩の話を聞く会などを計画的に実施する。
３年	①進路希望実現への具現化（計画立案、到達目標設定）を行う。 ②面談を通じて進路実現に際して取り組むべき課題を明確に意識させる。 ③確かな学力を身に付け、進路希望の実現に向けて不断の努力を惜しまないたくましい生徒の育成を図る。

家庭との連携

・ＰＴＡ活動の活性化を図り、学校評価、授業公開などの機会を通じて、情報交換を図生徒の将来設計と進路実現を保護者が強力に支援できる体制を整える。

地域･企業との協働

・地域の小中学校との連携やフィールドワークへの取り組み、また様々な活動に取り組む方々の講話などを通して、円滑なコミュニケーション能力や望ましい職業観を育成する。